

平成30年度第2回米子市文化財保護審議会 議事録概要

- 日 時 平成31年2月22日（金）午後1時30分～午後4時
- 場 所 米子市役所第2庁舎3階会議室
- 出席者 （委員）田中秀明会長、神谷要副会長、金澤雄記委員、山道俊哉委員
喜多村理子委員、常松喜恵子委員、丸山柚美委員
（事務局）岡課長、下高課長補佐、安達主幹、平山主事
- 内 容 ・挨拶（岡）：会議趣旨説明
・議事

1 平成30年度文化財保護事業実施状況について

【事務局資料説明・報告】

- ・埋蔵文化財関係（市内遺跡発掘調査事業、石井要害発掘調査事業、保存活用事業）
- ・史跡整備関係（史跡青木遺跡発掘調査事業、史跡米子城跡保存整備事業、鳥取藩台場跡
淀江台場跡）
- ・名勝・天然記念物関係（オオサンショウウオ）
- ・民俗文化財関係（第52回米子盆踊大会の開催、弓浜半島及び近隣地域のトンド）
- ・有形文化財関係（法勝寺鉄道車両）
- ・建造物関係（国指定重要文化財後藤家住宅、国登録有形文化財米子専門大店）
- ・無形文化財関係（淀江傘・弓浜緋）
- ・その他

【質問等】

- （委員）なかよし学級21校とありますが、学級全部へ行かれていますか。
- （事務局）市内の小学校が23校あり、都合で状況が合わなかったりして、2校はキャンセルが出ておりますが、原則全校出ております。1校あたり20人から30人の子供になりますが、特に低学年の子供は危険性もあるので、6・7人の職員が出て対応しております。
- （委員）今年度初めてですか。
- （事務局）もう10年近くになります。以前は宣伝はせずに口コミでやっていたのですが、いつの頃からか広まって、担当の子育て支援課で募集をかけていただくようになり、そのおかげで全校から要望が出ております。
- （委員）オオサンショウウオは毎年ありますけども、寒い時期に大きなものが出ていますが、全部マイクロチップは入ってないですか。
- （事務局）入ってないです。マイクロチップリーダーという読取り機を米子市は持っていないので、借りに行ってから調べています。時間があればそれができますが、

捕獲して水温が25度以上になるとかなり弱るということで、夏場は時間が無い場合が多くて、マイクロチップリーダーをかざさずに放流することがあります。早急に対応策を考えたいと思っております。同一個体を何回も捕獲しているのもゼロでは無いですし、マイクロチップリーダーで行動範囲もかなりつかめてくると思いますので、頑張っていきたいと思っております。

(委員) 法勝寺鉄道の車両は放置しているだけで壊れるものなのですか、それとも誰かが悪さをして壊されたものですか。

(事務局) 今回の場合は経年劣化です。一時はいたずらが流行った頃もないわけではないですが、ここ数年は経年劣化だけだろうと思います。覆屋だけで両側が吹きさらしになっており、そこも含めて対応を検討しなければいけない段階になっております。今は法勝寺にも置かれていますが、あれは覆屋の中に入っております。南部町はふるさと納税を活用して、きちっとした箱モノを作られました。米子市も何らかの格好で保護策は講じていかないといけないです。

(委員) そもそも電車は丈夫に作られていて、ステップが簡単に壊れるような物でもなさそうな気はするのですが、やはり壊れてしまう物ですか。

(事務局) 木造なので、塗料を塗って腐敗防止はしているのですが、やっぱり弱いところが出てしまう。

(委員) それは復元的に直すんですね。そこだけ鉄板で直すとかはしないですね。

(事務局) できるだけ現状で直します。本当は材が残っていれば良いのですが、前回、解体修理した時のものは幾らか保管してあります。それで対応できればいいですし、ダメなら同じような材質で対応します。

(委員) 材質を変えて、丈夫にする考えは。

(事務局) 考えていません。できるだけオリジナルのものを活かしてと思っております。

(委員) 材は何が使われていますか。

(事務局) 解体の時に詳細な調査結果が出ておりますが、今は手元にありません。

(委員) 米子盆踊りは存続が問題になっていますが、DVDか何かに残してはありますか。

(事務局) 踊りと歌と太鼓と音源を残してありますが、実際の指導者方々が危ない状態になって来ております。

(委員) 各公民館に配るとか。

(事務局) 各施設には配っております。

(委員) 各学校は配ってはありますか。

(事務局) まだ配っていません。

(委員) 学校はダンス同好会とか盛んになっていますので、そっちの方でアレンジしたりして、踊ってくれるんじゃないかな。

(事務局) ダンスが流行っていますし、昔は女性が主にやっていましたが、今は男性もダンスが必須になっています。声かけをしてみたいと思います。

(委員) 後藤家さんの工事がいつ終わるのかと重要文化財の修理となると一般公開、修理現場公開なんかしてもらえるとありがたいなと思ったり、その辺の考え方はありますか。

(事務局) 終了は5月末を予定しており、あと3カ月位かかります。普通の保存修理の場合は今までも一般公開をしております。ただし、今回の場合は、隅っこいいですか、ちょうど倉庫で使っておられる内側に色んな物がありまして、それを動かしてまではなかなかで、今回は無理かと思えます。少し大規模な時はご協力を得ながら、一般公開を今後もやって行きたいと思えます。

2 平成31年度文化財保護事業実施計画について

【事務局資料説明】

- ・埋蔵文化財関係（市内遺跡発掘調査事業）
- ・史跡整備関係（史跡青木遺跡整備事業、史跡米子城跡保存整備事業）
- ・名勝・天然記念物関係（オオサンショウウオ、ハマナス、市天然記念物粟島）
- ・民俗関係（米子盆踊り、米子市トンド保存会）
- ・有形文化財（法勝寺鉄道車両）
- ・無形文化財（弓浜緋の保存事業、淀江傘製造技術の伝承）
- ・建造物（国指定重要文化財後藤家住宅）
- ・その他

【質問等】

(委員) 名勝・天然記念物の粟島神社の社寺林の伐採はどのあたりを予定していますか。

(事務局) 海側の方になります。ベンチがあった見晴台の所がほったらかしで木々が伸びてしまったので、見えるように伐りたいということです。以前、お諮りしたような斜面を伐るようなことはないようです。

(委員) 文化財保存活用（地域計画）のことですが、県の文化財部局にお話を伺った時の話ですと、指定文化財と併せて地域の文化財を活用していく地域計画を練ってくださいと、市町村にお任せするというお話で、市町村の方は大変だろうなと思えました。その時には、米子は冊子がまとまっていて、すでに一歩先に進んでいると話題になりました。一歩先に進んではいますが、今の米子は米子城跡を中心として米子城に視点がずうっと集中していて、それは地域おこしとしては凄く成功している。では各地に残る文化財はどうやって連携を取っていくのか、まちづくりの観点からどうしたらいいのだろうか考えてみました。発想として、市民・観光客が来た時に、城下町も多くあるわけでもないし、米子の町はとにかくわかりにくい。でも、凄くいい素材がある。米子城跡に登れば自然が良く見えるし、これを分かりやすく皆さんに説明するにはどうしたらいいんだろうか。例えば、中世文化ルートを作ってみると、中心市街地の素晴らし

い物もありますし、県の指定もありますし、調査課の方はもう少し活動しなさいと言われる。中世の民俗、砦といったことを米子城から視点を外して広げていく事ができる。もう一つは、近世文化部はもちろん米子城が中心ですけれども、蔵とかが残っていればそういうところとか、近世に始まったと思われる民俗行事のトンドさん、米子盆踊りもありますし、もちろん建物や各地の石造もあって、八幡神社の像もあります。近世文化ルートの始まりは、米子城から始めることができます。自然環境ルートでは米子城跡に登れば地形がわかり大山も見えますし、弓浜半島の方にルートを作れるならば、ハマナスなども指定はできないけれども群生林もありますよ、というようなメッセージを市民が米子全体でわかりやすくイメージできるようなルート作り、実際にルートへ行く、行かないは別問題として、マップを見てわかるルート作りが必要ではないか。ここに載っているものを取上げることもできるし、ここに選ばれなかったところからも取上げることができる。セントロマントロは、発祥ははっきりしないですけど、ある地域のセントロは江戸時代から始まってますので近世文化ルートに入れることもできるし、そうしていくと結構いろんなことができるのかなと。山陰歴史館にある坂口家の雛人形は市の指定になってないですが、指定になる対象ではないのか。そういった形で、メッセージを一杯市民にわかりやすく送る、米子城跡を中心として送る夢を持ちました。

(委員) 米子は地味なんですけども、遺跡ごと、時代ごとのリーフレットに、先ほど委員が言われたことも少し入れて頂けたらと思います。そういう形でリーフレットが何冊かあれば。あまり厚くなるとみんなが嫌がりますから、薄い物でいいので、わかりやすい物をお願いしたい。

(事務局) 史跡全体を1枚にしたものは、担当がつくっております。追って3月にはできてくると思いますので、皆さんにはお配りしたいと思います。おっしゃるように、一個一個でなく、できるだけ全体像をと考えております。

(委員) だいたいいつまでに文化庁にださないといけないのか。

(事務局) 期限は切られていないです。書き方も努力目標的な書き方がしてあるんですけども、いろいろ補助金で地域計画を策定しているのが条件というのが散見されるようになってきていますので、できるだけ早急に作らないと。地元の方も高齢になって、88選で廻った時の方がかなり亡くなっている状況もありますので、時間は残されていないと思います。

(委員) 弓浜餅ですが、ごとう餅店で扱っているものは何所で作ったものですか。

(事務局) ごとう餅店で作っています。東福原の方に工場を持っておられます。

(委員) 餅の体験講座は、誰がされているんですか。

(事務局) 保存会の会長が後藤さんになりますので、後藤さんを中心にやっておられます。

(委員) 淀江傘の後継者ですけど、2年間、後継者の方は傘で飯を食って行けるんです

か。2年経ってその子が自分でやって行けるのか、または今の伝承館と一緒にやるのか、どういうところを目指しているか。

(事務局) 本来ならば、独立して生活が成立つようになれば理想ですけど、現実的にはなかなかで、そのまま伝承の会に残っていただいて、あの場で制作をして、生活するうえで幾らかの利益を得ていただいて、何とか頑張ってください。後継者ができて、その先に販売として出てきますので、いわゆる商工絡みの伝統工芸をいかに広めていくか、米子市と鳥取県で連携して何とか頑張ってもらえるように手立てをしていきたいと思えます。

(委員) 淀江傘を作って、買ってくれる人はいるんですか。

(委員) インターネット・海外販売を考えてみては。

(事務局) 受注はあります。2・3カ月オーダー待ちも現実的にはありますが、商売としては難しいところです。待っている人に1本売ったお金で生活が成立つかといえばなかなかならない。あまり高くすると注文が減るというジレンマを抱えています。現実的には3カ月待ちとかもありますので、何十本という注文は受けておられます。ただ、そういう中で時々大きいのがポツと入って来ますので、しゃんしゃん傘踊りの修復等ちょっとした直しが20～30本来ると、それに対応しないといけない。そうすると注文が溜まっていくというジレンマがあったり、大変ですけど、何とか後継者に来ていただいていますので、今後の事も含めて考えて行かないといけない。

(委員) 指定の候補ですけども、色々と委員の皆さんに上げていただいて、各分野で本を出していただいて、事務局に教えていただければ、先の委員の話ではないですけど、それらを活かしていけたらと思えます。

(事務局) また、300選の資料等をお配りして、ご意見をいただきたいと思えます。

3 史跡米子城跡整備基本計画について

【質問等】

(委員) パブリックコメントの1ページ目の意見をみました。結局は専門家だとか市の方だとか委員の方が本当に米子に愛着があり、また、歴史の事もよく知っている人たちで協議すればこういう意見にはならないと思えますけれども、一般の市民の大半はあんまり米子城跡で計画されていることも、反対ではないでしょうけど、無関心の人が多いと思うんですよ。いま反対意見を出してらっしゃる方は関心があって、一市民として意見を出していらっしゃると思うんですけども、すでに案ができている段階でひっくり返したりはできないでしょうけど、こういう意見も一般の市民としてはあると考えておいた方がいいと思えます。米子市民全部を取り込んで米子城跡整備を前に向けて行くことは難しいと思えます。一般の方たちをいかに納得できるのか、広報とか色んな手段があります

ので、知っていただきたいと思います。

(事務局) それにつきましては、確かにおっしゃいますように、例えば、どこか一カ所を整備するにしましても、必ず違う意見もありますし、例えば建物の復元にしても、した方がいい、しない方がいいと両方の意見があるのも事実でございます。その前段として、確かに一つベースにしなければいけないところは、国の史跡になっている以上は文化財としてどう保存継承していくかが重要なテーマで、文化財保護審議会をベースにしたうえで、街作りに活用していくという考え方が基本と考えています、その中でいろんな意見を取込んでいく。一つは保存活用計画・整備基本計画を示しながら、また、ソフト事業でシンポジウムやガイドウォーク、ライトアップで違う観点で楽しんでいただく、頂上に登って眺めを楽しんでいただく、色々な体験をしていただく中で、米子城の魅力・価値を浸透していくということもしながら、ベースとなる史跡として重要であるというご理解を深めていただいて、市民に対して、観光客に対して、活用の基本的な方向性を示して、それはその都度、議論する余地を残しながら進めて行くという形でやって行きたいと思っています。

(委員) 自然が大事という方もおられますので、例えば、可能であれば、ゾーニングとして、ゾーニングは時期的に変わってもいいと思いますけど、長期的に保存するエリアを設けて、自然に興味のある方たちにとってのエリアも盛り込みながら共存していくようなやり方をと思いました。米子城跡の自然を散策されて楽しんでいる方は、駐車場から真っすぐ谷へ上がる辺りがいいのかと思われている。あの辺りも今後伐られるんですか。

(事務局) あの辺りはほとんど伐りません。イロハモミジがある辺りは伐るのは難しいと思います。何とかゾーニングをしながら、手を入れるところと、1本だけ伐るところ、ここさえ伐れば視界が広がるというところはあるかと思います。その辺も随時相談しながらやって行きたいと思っています。